

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(伊方発電所第3号機 設計及び工事計画(使用済燃料乾式貯蔵施設の設置)【10】」
2. 日時：令和3年5月13日(木) 10時00分～11時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室(一部TV会議システムを利用)
4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

藤森安全管理調査官※、塚部管理官補佐、櫻井安全審査官
宮嶋安全審査官

(技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門)

後神技術研究調査官※

四国電力株式会社：

原子力部 安全対策検討グループリーダー 他8名※

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子燃料計画グループ 担当1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・伊方発電所3号機 使用済燃料乾式貯蔵施設の設計及び工事計画認可申請に係る審査でのコメント等管理表
- ・伊方発電所3号機設計及び工事計画に係る説明資料(耐震性に関する説明書)(使用済燃料乾式貯蔵施設)等
- ・伊方発電所3号機設計及び工事計画に係る説明資料(生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書)(使用済燃料乾式貯蔵施設)
- ・伊方発電所3号機 使用済燃料乾式貯蔵施設設置工事に係る電気事業法に基づく工事計画の概要について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁桜井です。これから四国電力の乾式キャスクの設工認のヒアリングを始めたいと思います。四国電力さん閉説明をお願いします。はい、四国電力の堀家です。よろしくお願いいたします。
0:00:16	まず本日の資料の確認でございますが、資料 4 種類準備させていただいております。まず①がコメント管理表②が廃止に関する説明補足説明資料③がちゃえに関する補足説明資料④が電事法に基づく工事計画の概要についてというものになっております。
0:00:35	では丸一のコメント管理表のほうをお願いいたします。
0:00:40	はい。
0:00:41	まずはコメント管理表の遮へいの 36 万
0:00:45	遮へいについてのコメント管理コメントにつきまして回答いただくCAQ回答させていただきます。
0:00:53	四国電力高塚です。当資料一番の再編のコメントについて確認いたしますとNOが周辺の 36 で 4 月 22 日のヒアリングにていただいたコメントです。コメント内容としては敷地線量評価において開口がない評価モデルで評価を行っているのが実態は吸排気
0:01:11	旧機構等の開口部を有する建屋構造のためストリーミングを考慮しても敷地境界線量評価結果に影響はないか示すことというものでしたで回答の仕方としては開口部をモデル化した敷地境界線量の評価結果より、資料 16 申請書添付ですけれどもこの敷地境界線量評価結果が、
0:01:29	非保守的になっていないことを白丸 3 を用いて説明させていただきます。資料③お手元に準備をお願いいたします。
0:01:39	右肩③と書いているのが資料 3 です。右下通しページの 3 ページをご覧ください。
0:01:46	補足説明資料の目次となっております。今回 2 ポツQADコード等による評価の妥当性についてを追加いたしましたのでこちらを説明いたします。
0:01:56	右下通しページの 9 ページをお願いいたします。
0:02:03	右下通しページの 2 ポツQADコード等による評価の妥当性についてということで 2 ポツ 1 概要です。西尾区に関し、使用済燃料乾式貯蔵建屋については QADコード等により使用済み燃料乾式貯蔵建屋の補助遮へいを。
0:02:18	上の遮へい体としてモデル化し、伊方発電所の敷地境界外における線量が年間 50mSv以下を満足していることを資料 16 生体遮へい装置の放射線の遮へい及び熱除去についての計算書で評価しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:33	ここで前日の強化、都市資料 16 の評価ですけれども、においては、使用済み燃料乾式造建屋の給排気孔モデル化してできないため、ストリーミングの影響を考慮しておりません。
0:02:46	このため今回、当該開口部からのストリーミングによる影響を考慮可能なMCNP5V 行動を用いて、敷地境界外の年間線量を評価することで、資料 16 の評価結果の妥当性を説明いたします。
0:03:00	2 ポツに評価方法です。
0:03:02	Shiomi燃料乾式貯蔵建屋の給排気孔からのストリーミングの影響を考慮するため、給排気孔の迷路構造を含め、第 2-1 図、後で説明しますが、に示す評価モデルにてMCNPV 行動を用いて、敷地境界の線量評価結果線量評価地点の年間線量を評価いたしました。
0:03:21	評価においてだ面積ライブラリーはガンマ線評価ではMCP分 84 中性子線評価ではFSXリブJ33 をそれぞれ用いております。
0:03:33	主な評価条件及びMCNPVコードの概要を第 2-1 表及び第 2 の機能名称にそれぞれ示しております。次のページをお願いします。
0:03:44	当初の 10 ページです。第 2-1 図、基本は機構からのスクリーニングの影響評価モデルです。
0:03:51	このモデルは最新の建屋寸法反映しておりまして、受注のグレーハッチング部分がモデル化の範囲です。
0:03:58	1 ページをお願いいたします。
0:04:01	通しの 11 ページです。
0:04:03	まず上半分の第 2-1 表、主な評価条件ですが、上から順番に計算コードはMCNPV 行動バージョン 1.60 を使用しております。次打面積ライブラリーは先ほど説明した通りです。
0:04:16	センゲンは乾式キャスク 52 間いとしており、これは使用済み燃料乾式造建屋の迷路構造の妥当性確認の観点で通路部にも線源となる乾式キャスクあると想定したものです。
0:04:28	続いて線源強度は、線中性子線それぞれ乾式キャスク表面から 1mの地点で 100mSv/hとなるように規格化しております。
0:04:37	センゲン作つとる包絡スペクトルを使用しております。
0:04:40	センゲン形状は直径 260cm高さ 520cmで当方線源とC乾式キャスク同士の相互作用が無視しております。
0:04:49	評価モデルは先ほど第 2-1 図で説明した通りです。
0:04:54	評価点は建家中心から 500m、EL170mの位置でF4 度を使用しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:03	参考部分は割愛します右側でナイフ辺りはトラックリングするSTメーターです。
0:05:10	最後に分散低減は上と委員同士をしております。
0:05:15	その下の第2-2表、M深部APVコードの概要は設置許可審査資料に記載したものと同様ですので割愛いたします。次の次のページをお願いします。
0:05:28	通しの13ページです。2ポツ3評価結果A2発目の評価条件をもとに評価を行った結果を下の第2-3表に示しております。
0:05:39	また参考ですけれども、敷地境界外の線量評価地点までの遷延線量分布を第2-3図に、
0:05:47	そして、使用済み燃料乾式貯蔵建屋内の線量分と第2-4図にそれぞれ示しております。通しの14ページと15ページ。
0:05:56	父母お願いします。まず、通しの14ページですが、
0:05:59	没水の前ページに第2-3図を示しておりますこれは敷地境界、
0:06:05	外注評価点までの年間線量分布を中性子線とガンマ線についてお示したものです。
0:06:13	次の15ページお願いします。
0:06:16	第2-4図は使用済み燃料乾式貯蔵建屋内の線量率分布を中性子線等ガンマ線についてお示したものです。
0:06:25	23ページの本文に戻っていただきまして、
0:06:29	これらコンター図を見ていただくとわかる通り、線量率が連続的に変化していることよりストリーミングを適切に評価できており、
0:06:37	イトウインドの設定が妥当であると判断しております。
0:06:41	また第2-4図、建家内のコンター図ですが、がどの断面位置の線量率分布を示している感じでは、第2-1図、評価モデル図に青破線で示しております。
0:06:54	通しの16ページをお願いいたします。
0:06:58	投資の16ページにPOS4まとめです。
0:07:02	下に示します第2-4表の通り、資料16に示す給排気孔をモデル化していない場合の評価結果を表中の②の列の評価結果は、今回説明いたしましたストリーミングの影響評価した影響を考慮した評価。
0:07:17	結果、表中の①の列ですけれどもこれと比較して、非保守的な評価となっておらず、妥当であると考えております。説明以上になります。
0:07:36	あとございます。
0:07:46	はい、生活科命令です。ありがとうございます。
0:07:52	やっぱMCNPと比較して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:54	指摘になってるというのは、許可の段階でも説明いただいている内容かなとも思います。ちょっとMCNPの中身については、
0:08:05	また後で多分ここ等からのコメントもあるかもしれませんがちょっと考え方だけ聞きたいんですが、
0:08:13	今ワーク管理区域境界での線量評価の妥当性を説明する一連の
0:08:23	で、
0:08:24	の資料かと思うんですが、これだけを見るとその敷地敷地境界で、
0:08:32	もう比較してということになってるんですけど、その管理区域境界でもストリーミングを考慮して、
0:08:40	指摘になってますというのは、
0:08:43	どう説明されてると思えばいいんですか。
0:08:46	四国電力高塚です。管理区域の境界に対しては開口部は迷路構造として非管理区域側開口構想に設置しておりまして、人の接近がないように、放射線防護措置をとっておりますので影響は小さいと考えております。
0:09:01	今回は影響が大きいと考えられる敷地境界線量に対してそれにも影響を考慮した評価結果を御説明しているものです。
0:09:14	はい、規制庁掴めないです。
0:09:16	伝播済でその管理区域境界のモデル自身はその海溝ないということになっていて、そのモデルが妥当なんですよということを説明いただかないと思ういけないと思うんですが、そこについては今ご説明あったように、
0:09:33	その接近が少ないとか、
0:09:36	人の話して御説明されているということですか。
0:09:42	その通りです。
0:09:47	破棄精査掴めですけど、説明の中の内容はばっかり話は説明の方針はわかりました。
0:10:03	よろしくお願いします。
0:10:05	はい。
0:10:08	はい。ありがとうございますご説明ありがとうございます等であればその今のその人的因子内容っていうのを説明加えていただくとかその紙
0:10:19	当課というか、今回の敷地境界のところのように、
0:10:27	モデル化できるなら、していただくのかなと考え、
0:10:32	でしまうんですけど、ここを3考えはいかがですか。
0:10:43	規制庁のほうです。
0:10:48	ちょっとほぼ法的にどこまでそこ詰め切らないといけないのかというのが私はあまり理解できてませんが、前回のヒアリングで説明していった、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:59	いただいたその
0:11:04	建家内容とどう考えてどこに
0:11:08	どこを抜けてくるから、
0:11:11	人評価的にこうなりますよという説明を聞いてるとかなり保守的だとは思いますが、
0:11:18	そこに
0:11:20	硬さ二通りの泊ではないかといえば、
0:11:23	迷路構造と比べて、
0:11:25	これのは認められまするんですけども。
0:11:29	前回説明していただいたこの人的な設計をストリングがさらにご意見来るっていうのは、技術的に考えるとあまり想定はしにくいなとは思いますが、
0:11:45	それをある程度定量的に示してくださいねというのを要求するものであれば、
0:11:51	ここ今回出していただいたそのMCNPエーツ詳細なモデルを組んで、
0:11:57	ところまで、
0:11:58	必要かという先ほど方針の説明があったように、
0:12:04	いろんなところでカバーできているので、そこまで
0:12:10	なりませんよっていうのは日報含めて、
0:12:13	簡易的な何かで説明してもらって軽度でよいかなどは、
0:12:19	思いますが、
0:12:22	とその今のところの観測としてはそんな感じですが、
0:12:28	としてさチームはどうでしょう。
0:12:37	できるだけ出してはいかえと規制庁使うアベですって、そういう意味では許可の段階では、
0:12:44	渠ケツ施設の境界でのそのコンクリートに比べて、
0:12:51	もうそのラビリンス構造で、
0:12:55	効果がありますという御説明を受けていて、
0:12:59	ベース基本的にはその説明を求めてないかなっていけないかと思っています。
0:13:05	です。
0:13:07	その人の接近でという話は戦略今回初めてお聞きした話で、先ほど酒井も言っており、そのところまで説明を受けていない。
0:13:18	内容とかにも書いていない内容なので、
0:13:22	それはそれでまた別途議論しなきゃいけないかなと思います。ただ、技術的に
0:13:28	コンクリートがアベリスク構造が十分保守的だというのは、
0:13:34	どのような形かはわからないんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:38	技術的に可能説明できる範疇ではないかなと思っているので、そういう説明が可能なのであれば、そういう説明を
0:13:48	受けたいと思っています。
0:13:55	はい。私から以上です。
0:14:00	はい、他の4年産のですか。
0:14:03	四国電力高塚です。少し補足させていただきますが、当開口部を設ける際に構想に設けるといような基本的なことは基本的方針にも記載しております、今回の設計もそれにのっとったような設計としておりますので、
0:14:19	今まで全く説明していない内容ということではないかなと考えております。
0:14:27	あとな。
0:14:38	線量は、
0:14:41	イトウ線量評価は、
0:14:43	具体的な戦略とか、島先生なんだよね。特に受けていないっていう意味での、今、多分、
0:14:50	当指摘なりでコメントだと思うので、
0:14:55	ちなみに、事業者側としては可能なんですかね
0:15:01	これくらいのレベルを求めるかどうかは、Dの行為まして、言ったんですけども、簡易的な
0:15:10	モデルなり何なりで、
0:15:14	こういう評価してきますよっていうのはあるんですかね。
0:15:19	あそこ魅力とかストレス、
0:15:25	イトウ申請
0:15:27	の実際の申請ので使っている9L1コード等の簡易な評価モデル組んで行う評価だと開校ご考慮するのは難しいんですけども、
0:15:38	それよりも今回示しているコンター図とかのほうを見ていただく方がかなりわかりやすいのかなと思ってまして例えば、
0:15:48	今回の通しページと15ページの建家断面のコンタクトから見ていただいても、屋外の人が近寄るなどころの線量が低いということは、コンタ図を見たほうがよりわかりやすいと思うので、
0:16:03	先ほどコメントいただいた通り、定性的な説明にしつつもこの図をちょっと読み込むような形で
0:16:11	影響が小さいということを文章に追記させていただくぐらいが一番わかりやすい説明になるのかなと考えておりますが、いかがでしょうか。
0:16:29	規制庁掴めですけど、先ほど言ったように基本的にはその工認で示している建屋のモデルが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:36	妥当かというところを説明いただく。
0:16:40	地方があると思っていて、ただあんまり室との接近というよりも、
0:16:45	建屋の外で
0:16:47	コンクリートで、
0:16:49	評価した。
0:16:51	以上の元帥が
0:16:53	例えば開口部があったとしてもありますよというのを、
0:16:58	説明いただかないといけないかなと思います。
0:17:07	ね。
0:17:13	話を開口部の青とか緑のところ、
0:17:18	四国電力の堀池です。
0:17:20	すいません、私もすべてはあれですが、今までやってきた工認等でですねそこ についての
0:17:27	評価みたいな名前を示すことはないですし、MCNPの評価もおそらく九州 さんがPdで出したのが初めてぐらいかなと思っておまして、従来そこまでは やってないというのが正直なところかなと思ってます。
0:17:44	で、
0:17:45	ちょっと検討はいたしますが、
0:17:52	先ほど高さのほうから申しましたコンター図を用いて、
0:17:57	その図 2-4 図とか 2-2-4 ですね、いきますと、
0:18:04	ちょうど、旧機構側の開口の下側下側っていうか外側ですね、そちらが管理区 域になっておまして、その、そこはきっちりと
0:18:16	線量として管理区域境界の
0:18:20	日敷地以下であるというのは少し出せるかもしれないというのがちょっとある んですが、
0:18:33	はい。
0:18:37	そうです。
0:18:39	ね。
0:18:43	じゃあ、もう
0:18:46	そういうのをいれば、今回旧機構のところっていうのはここは確かにPP上と か、人が容易に近づけないんですが、その壁の反対側、外側についての線量 というは出せるので。
0:19:02	それをもって、こっち、
0:19:06	流下休会機構部分の設計が妥当であるというのは、
0:19:11	お示しをする、できるかなと思ってるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:16	それでもちょっと不足ですかね。
0:19:20	規制庁使われたからそういう意味でその保守的であることは、
0:19:23	多分、みんなわかっていた上での来ているので、おっしゃったように、
0:19:31	黒線Pのこの評価。
0:19:34	もう用いて、
0:19:36	管理区域境界、
0:19:38	でも、その
0:19:40	モデルの妥当性をちゃんと
0:19:43	時きます。
0:19:45	いうふうに
0:19:46	な形がいいかなと思います。わかりました。では、ちょっとこの資料の構成をまたちょっとこちらで検討いたしますが、おっしゃったように、基本的には敷地境界の線量で比較しておりますが抄分けるか追記する形です。ね。
0:20:01	管理区域の設計につきましても、今回の評価結果を用いて、まだ等にできていますと、
0:20:08	いうところ基本設計の文章とも呼び込みながら半定量的にですね大洲御説明できるようにちょっと資料のほう、準備したいなと思いますので、よろしくお願ひします。
0:20:22	はい。
0:20:23	はい、お願いします。
0:20:28	ほかに。
0:20:33	背弧項です。
0:20:36	ちょっと結果としては保守的だということで、しっかり示していただいたもので特に問題はそこはないんですけども、ちょっと条件で幾つかあったらいいのか。
0:20:49	名のあった資料の 16 ページの最後のまとめの結果が、結果の比較表が出ているところですけども、
0:20:59	例えばガンマ線の評価だと。
0:21:03	MCNPの評価結果と。
0:21:06	年明けを 16 で説明したと申請の評価との比率が 10 対 1 になっているということなんですけども。
0:21:15	ところ、
0:21:16	これだけの差があらわれの
0:21:19	要員を主にどこに
0:21:22	あるでしょ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:23	つまり資料 16 の評価の保守性がすごく大きいという。
0:21:29	調整
0:21:31	が大きい。
0:21:36	はい。四国電力高塚です。はいご認識の通り資料 16－評価モデルの補正が当たって大きいということで、
0:21:47	4 としては、壁厚 150cm でキュウリ行動
0:21:51	A を用いて直接線について評価してるんですけども実際につき壁と外壁機は機構のところはしっかりラビリンス構造を組んでいるので、150cm の壁を 2 枚通るものが支配的なので、かなり保守的な評価になっているものと考えています。
0:22:11	以上です。
0:22:14	はい規制庁の方向でスパはい
0:22:17	理由はよく理解できます。
0:22:19	それを今回のこのコメントの
0:22:24	出たそもそもの趣旨なんですけども。
0:22:31	設置許可のときに説明していただいた。
0:22:36	例えば赤穂ストリングの話なので中性子の話でいきますと、
0:22:41	中性子の線量モデルは A と同等コードでつくって、
0:22:47	それと MCNP コードで KY 気候のところに、
0:22:51	包括した
0:22:54	ドイツ評価を日のその二つを比較して、
0:22:58	話で聞いていたんですけども。
0:23:01	今回、それだけではちょっと不足しますよといった趣旨のところは御理解いただけましたでしょうか。
0:23:18	申し訳ございませんもう一度オリフィスよろしいでしょうか。すいません。
0:23:22	はい。
0:23:25	設置許可のときは、
0:23:27	と同等コードの
0:23:29	評価が都市主軸になっていて、そのどうどうコードのモデルに分ける排気工学、
0:23:36	モデル化されていないので、
0:23:39	その
0:23:41	影響を見るために MCNP V コードで、
0:23:44	研究機構と配置校のつくり込んだモデルを作ってもらって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:49	そこの浮き上がり機構から抜けてくる透過率というか、漏えい率というか、そういったものを評価してもらって、
0:23:56	その二つの結果を見比べたときに、
0:24:00	ストリングの効果を入れても、
0:24:04	連成モデルとなってるという事コードのほぼ
0:24:08	問題ありませんよという説明で聞いていたんですけども。
0:24:13	今回、それに加えて、
0:24:16	もう少し詳細に
0:24:19	評価してくださいと言っ一波コメントのそもそもこちらの意図というか趣旨という か、
0:24:25	そこをちゃんと御理解いただけたかどうかというのを聞きたいんですが、
0:24:44	四国電力の堀切です。コメントいただいた後、九州さんともちょっとテレビ会議 でささせていただきまして、etの方で我々が示した説明先ほど護岸おっしゃら れたように部分的、
0:25:02	一般的にモデル化してそこで比較するというのをさせていただいておりました ね。その部分的に比較した場合であると王道自体の違いもあるとかいうところ もありまして、そこ。
0:25:17	引き伸ばして
0:25:21	その部分だけを見て日境界点のところはどうかっていうのは、土俵も違う部 分もあるので、一概に言えないというところかなと思っておりまして、Code自体 はそれこそとかはできないので、本来の目的である。
0:25:37	敷地境界の部分で比較をするというのが回動により近いものになるのかなと いうふうに考えまして今回このような
0:25:47	ものを示させていただいたところですよ。
0:25:54	はい。規制庁の5項です。
0:25:56	県連さんの審査のときに、
0:26:00	そもそもこの話が出たのが、
0:26:04	MCNPコードとのしっかりつくり込んだ解析をあればそれで良しとして、
0:26:11	それと比較をする。
0:26:13	そもそも等々コードで、
0:26:16	三重県Rz体系で、
0:26:18	スカイシャイン等行っていたところ、
0:26:21	変状の透過率のところを、
0:26:25	と同等コードそのまま使ってしまうと
0:26:28	センゲンからどっちの角度に出たかで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:32	現状の／厚さが透過厚さが変わってきてしまうというのが、
0:26:38	あるので、代表すごく決めにくいところから何すんコードを使って一次元の無限平板体系で天井の厚さを抜けていくバルク遮へいの透過率を計算して、
0:26:54	つまり東亜にすんコードで非常に保守的な検量厚さの
0:27:00	透過率を計算して、それとMCNPで計算した絵と吸気降灰機構抜けていくか。
0:27:08	透過率と比較をしたわけ。
0:27:12	なのですが、これは、
0:27:15	この県の
0:27:17	設置許可でも同じことをされていると思うんですけども、ここで一つ疑問になったのが、
0:27:25	味噌コードを使って保守的に決めたバルク遮へいの透過率とMCNPで現実的の体験を組んで、
0:27:34	計算した急崖機構の透過率と比較して、
0:27:41	MCNPのコードMCNPの評価結果のほうが低いから問題ありませんっていうのは、
0:27:47	子供とも別途おかりが高いもの等々化率が低い教訓があるような計算をした結果の比較になるので、これで掘ってMCNPの
0:27:58	評価結果。
0:27:59	ただ、
0:28:01	だけ
0:28:04	編成の評価結果が妥当でてます。
0:28:08	言えなくなるんじゃないかというのが問題として出てきますので、
0:28:12	それちょっといろいろ考えてもらったんですが最終的にはもうMCNPで
0:28:18	敷地境界まで飛ばさせてもらって、その結果と同等でそのまま計算した結果と単純に比較して、
0:28:27	こうなると同等コードMCNPコードの単純比較になってきますんで。
0:28:33	それだったら大丈夫でしょうということで最終的に今回先ほど説明していただいたようなストーリーで、
0:28:40	説明していただいて、今回、
0:28:43	4 電さんにもそれに倣っていただいたという形になってます。
0:28:49	今回それで全然構い構わないんですけども、先ほど、
0:28:54	べく別途コメントなった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:56	建屋の外側れ企画しますよとか、建家の外壁大丈夫ですよっていうのを証明するよなときに同じようなことが出てくると困りますので、ちょっとその辺をご理解いただいて、
0:29:09	何かと何かを比較するんであれば、
0:29:12	保守的でかいあればいいとして考えてしまうとちょっとどこかにほころびがでてきてしまうので、
0:29:18	気をつけていただきたいなと思うんですが、
0:29:22	大体御理解いただけましたでしょうか。
0:29:26	四国電力です。最初のほうの分解わかりましたありがとうございますですいません。今我々がちょっとやろうとしているのは、比較をするというか、もうこの、今回作ったMCNPのコードでの
0:29:42	例えば永久配置校が旧機構側の下の部分の区分Ⅰ、
0:29:49	管理区分Ⅰにしているところ、それが真似区分Ⅰ、
0:29:54	あまり区分Ⅰの
0:29:59	せえと。
0:30:00	線量といったような
0:30:02	線量以下であるというのをもうそのままなってますよというの管理区分の
0:30:08	やはりこの設定が妥当であるというふうに示そうかなと思っております。ですので、
0:30:16	設置許可で示させていただいたモデルの話題とMCNPで今回出そうとしてる値がどちらが大きいからどうこうというような形にはできないのかなとちょっと思ってるんですけども。
0:30:30	それで。
0:30:33	認識合っております。違いますか。
0:30:36	系統の方向ですね、まず考えていただいて、トレーダーのすそちらでも、
0:30:43	いろいろ試行錯誤してストーリーとして固めていないとおそらくわからないと思いますので、
0:30:48	そう考える過程で、
0:30:52	いろんな解析コードが入り乱れると何が保守的で涙県下でわからなくなってきたり、いろんなものの不確かさが増大していった結局最終的に何もわからなくなったり、
0:31:06	そういうことが出てくるというのと、そういうときに走りやすいのがやっぱ音楽保守的に考えていけば大丈夫だって考えてしまうと。
0:31:14	どこかで保守性が逆転してしまうことが出てきますので、その辺気をつけて検討していただければいいですよ。それぐらいの話です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:26	今考えていただければいいかと思います。はい、わかりました。
0:31:37	それから最後にもう一つ、簡単なことなんですけど、
0:31:45	説明していただいた資料の 9 ページ。
0:31:52	はい。
0:31:54	この※2 個の
0:31:57	回答に当たるところタイトルでQADコード等による評価の妥当性についてとあるんですけども。
0:32:04	特許をここで、
0:32:06	議論しているのストリーミングの話でQADコードって確かガンマ線の直接線も評価にしか使ってないんじゃないかなと思うんですけども。
0:32:17	このタイトルにQADコードが出てくるのは何か。
0:32:21	問題やって問題とは言いませんけど、何か違和感があるような気がするんですけど、いかがでしょう。
0:32:28	はい。
0:32:30	ただ、四国電力永塚です。そして五行さんのご指摘の通りかと思います。資料 16 の評価結果あ評価の妥当性についてっていうことを通しお示したくてまだ表としてQADコードを変えている状況です。
0:32:48	はい。
0:32:51	はい規制庁と 5 項ですね、
0:32:55	あと、タイトルがどうであるメディネットに内容が技術的などところは変わるわけではないと思いますけども、その辺はちょっと
0:33:04	記載が適切なのかどうか、傾動はちょっと検討いただけると良いかと思えます。
0:33:11	承知いたしました。
0:33:17	規制庁の方向です。私から、とりあえず以上です。
0:33:22	ありがとうございました。
0:33:25	地盤です。
0:33:29	日本から特になければ遮へいについてのコメント回答を終わりますけど。
0:33:36	よろしいですかね。
0:33:38	何かドイみたいことか廃棄体とかあります。
0:33:58	1、
0:34:01	4 点から特になければ次、
0:34:04	移りたいと思いますけど、どうですか。はい、わかりました。では引き続きまして、耐震のほうの回答させていただきます。
0:34:15	ここ 3 ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:19	はいとか、
0:34:21	わかりました。
0:34:34	はい。それでは耐震コメント 35 について四国電力平田が回答します。
0:34:44	質問内容ですが、モデル上のこういう知恵の出し方を／年提出燃料の扱いの考え方についてということでしたが、
0:34:55	本日の資料の②、
0:34:58	資料 9 に係る補足説明資料を用いてご説明します。
0:35:05	抜粋で 5 ポツ使用済み燃料乾式貯蔵容器の耐震評価モデル妥当性について、
0:35:12	ということで右下のページ、6 ページをお願いします。
0:35:18	2 ポツ、耐震評価方法で今回の設工認において、乾式キャスクの耐震評価では、設工認の解析方法にならない。
0:35:28	足キャスク及び
0:35:30	貯蔵架台をはり要素及び線形ばね要素でモデル化して、こういう値を算出し、FRSから
0:35:37	こういう値に対応した評価用加速度適用しております。
0:35:41	乾式キャスク及び貯蔵架台を連成した固有値解析モデルを大分-1 図に示しております。次のページをお願いします。
0:35:51	右下 7 ページ、こちらは工認撤去モデルとなっております。
0:35:56	ウェイ側の失点と梁で構成されたものが乾式キャスクを無視した。
0:36:03	梁モデルとなっております、下の
0:36:13	5 番の様子で
0:36:15	モデル化したものとなっております。
0:36:19	具体的な説明は、工認適応というにおける乾式キャスクのモデル化の考え方を 2-1 項
0:36:27	各とら人及び貯蔵架台の剛性モデルの考え方を 2-2 項に示します。
0:36:35	はい。
0:36:36	それではページ、8 ページ、お願いします。
0:36:40	にも 1 乾式キャスクのモデル化の考え方でいい乾式キャスクは、地震時にオーバル変形及びねじれ変形は生じないため、
0:36:50	耐震評価で考慮すべき変形を曲げ変形のみであることから、
0:36:55	梁要素及び失点でモデル化しております。
0:36:59	もてるの図については次ページ右下 9 ページをお願いします。
0:37:06	うん。
0:37:08	金ベースの一番左の図が実現象を模擬したものとなっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:14	こちらを検討の容器と見立てて、真ん中の図のようなモデル。
0:37:20	を想定して
0:37:22	こちらをさらに重量及び重心高さが実形状と同じになるように知ってんのにフィット局質量を調整してはりモデルを作成しております。
0:37:36	なお、
0:37:38	同意リスト側の中性子遮へい材及び回答の重量については、
0:37:45	J-PARCについてはモデルに組み込んでおりますが、剛性については組み込んでないため、保守的な評価としております。
0:37:54	また乾式キャスクなり燃料集合体については、
0:37:59	燃料集合体が存在する高さ及び近傍の複数の失点質量監査してきております。
0:38:10	各質量とたっけえ知ってんの。
0:38:14	場所については、
0:38:17	右下 10 ページの第 1 図部分水に示しております。
0:38:26	続いて、右下 11 ページをお願いします。
0:38:30	2.2 ポツ兜岩にも予備貯蔵払いの剛性モデル化の考え方。
0:38:36	こちらで分析表というのはね定数の算出方向の妥当性についてご説明します。
0:38:43	兜何を意味貯蔵架台の剛性を模擬した線形までは、
0:38:49	水平方向の並進ばね、鉛直方向の並進ばね。
0:38:53	及び会見までの 3 種類であり、
0:38:56	すべて場面、
0:38:58	構成差質問出る売る解析結果から算出しております。
0:39:03	ここで水平方向の並進まで及び回転ばねは、
0:39:08	2-3 図に示す、2 方向、ケース 1 ケースで算出しております。
0:39:15	こちら右下 12 ページいただいて、もう 3 図、
0:39:19	お願いします。
0:39:21	Case1 についてはプランニングの間高校向けて傾くケースを想定しております。ケーソンについては、プランニング回る方向に
0:39:32	キャスクは傾く
0:39:35	およそ想定しております。
0:39:38	このようなケース分けしている理由は乾式キャスクの傾き風向による北。
0:39:43	こういう値を確認するためであり、
0:39:45	ケース 1 の固有値がケース 2 よりも小さいことから、
0:39:49	評価にはケース 1 の空調適用しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:53	こちらのこういう値の結果については、右下 12 ページの 1. 農業に表に示しております。
0:40:01	ケースも
0:40:03	が 16.7。
0:40:05	ケース 1 が 15.5 タイプ 1 ではタイプではケース 2 が 16.4 系設置が 15.2 と。
0:40:13	向けたケース 1 のほうが、
0:40:17	現場となっております。
0:40:21	続いて、右下 13 ページ。
0:40:23	2.2. 11000Kまでの算出方法についてそちらで御説明します。
0:40:30	線形ばねの算出結果を 2-3 表及び右の表 3-4 表に示しております。
0:40:37	右下 14 ページっていた。
0:40:41	ただいて、第 2-3 表に表が結果になります。
0:40:47	回転ばねの剛性については、ケース 1 ケースする分ほとんど差がありませんが、水平ばねの剛性については、
0:40:55	Case1 のほうが低い構成となっております。
0:40:59	このためケース 1 のほうは軽油周波数側の保守的なこれ固有値となるため、こちらの値を使用しております。
0:41:10	また、この三次元FEMモデルが兜岩によって及び固定装置をはり要素でそれ以外の部位を参事官をして、変更構成モデル化しております。
0:41:23	モデル化の考え方については、次ページの
0:41:27	0 ページ 26 ページに示しております。
0:41:32	なお、燃料集合体については乾式キャスクと輸血しておらず、モデル全体の剛性には寄与しないため考慮しておりません。
0:41:41	それが右下 15 ページお願いします。
0:41:46	次のページの左側形成チーム側ケース 2 の揺れ方を示しております。
0:41:54	梁要素なしとしているところについては、
0:41:59	06 ページのほうの 64 ていただきますと、
0:42:05	回転方向に対して、
0:42:09	傾き方向に対して、傾く側にあるとについてはトナミ運動方向は下向き埋めるため過剰受けないため、やはり恐れなしとしております。
0:42:20	逆に傾く側の反対側の調査については、何運動方向が過激のため、
0:42:27	荷重条件をするため、こちら計算に使用しております。
0:42:31	その結果ケース 1 では、片受け側の反対側と日本が、或いはCとして評価されたケース 2 では肩書き側にある一方のプランに用いと半分が評価に使用されております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:49	はい。
0:42:59	各現場での剛性の算出方法については、
0:43:03	17 ページ 8 ページの(1)(2)(3)の説明しております。
0:43:10	こちらの説明方法については割愛いたします。
0:43:18	人 9 ページにまとめていただいて、本資料で乾式キャスク及び貯蔵架台の耐震評価に適用した固有値解析モデルについて年以降にて乾式キャスクのモデル化の考え方の見込み値で号線モデル化の考え方を検討いたしました。
0:43:40	こちらでコメント 35 の回答としたいと思います。
0:43:49	以上で御説明
0:43:52	終わりますが、何かご質問等ありますでしょうか。
0:43:56	はい。
0:43:58	すみません、今、
0:44:00	で配置とか、
0:44:04	それでスケジュール。
0:44:08	はい。
0:44:14	すみません。
0:44:17	キャンペーン 1 については三次元要素モデルと梁モデルの個別の解析結果の比較ということで今回の
0:44:25	梁モデルの妥当性について説明するために添付としてつけております。
0:44:34	だから、やはりモデルのほうがの方がというか、モデル図ですっていうご説明いただけますか件数とか、そうですね。
0:44:46	すみません。
0:44:49	御説明させていただきます。
0:45:02	右下 20 ページをお願いします。こちらで三次元梁モデルと半期におさまると梁モデルの広域の解析結果の比較を行っております。
0:45:13	読みした 21 ページ、50 ページにて、
0:45:18	三次元要素。
0:45:20	FEMモデルで行った固有値解析の結果とはり要素及びCってモデルで
0:45:28	算出した固有値解析の結果を示しております。
0:45:32	どちらを。
0:45:35	4 は周波数載っているため、やはりモデル。
0:45:40	の妥当性を確認しております。
0:46:06	はい。
0:46:09	はい。続いて添付の説明を行います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:17	添付資料 2 では三次元FEMモデルで算出した方が企画及び変更の検討入力加速度の関係を示しています。こちらを本文のほうの 11 ページ。
0:46:29	いうと、
0:46:31	前置ページのもっぱらウラン燃料、4 行目。
0:46:36	選手線形までの算出方法の詳細。
0:46:40	を前提に意見 1 項に示すとしておりまして、三次元のモデルでは、
0:46:46	地震時の為替乾式キャスクの挙動を精緻に模擬するため、
0:46:51	乾式キャスクの低減及び貯蔵架台がイイダに來選定整備する。
0:46:56	接触要素を設定していれば傾き書く。
0:47:00	周辺、
0:47:01	及び鉛直編と、入力加速度が関係がすべて線形であり、
0:47:07	会見をして、水平方向、
0:47:10	返信剛性
0:47:12	及び鉛直方向の返信お世話すべて線形バネするモデル化に問題がないこと、こちらで確認しております。
0:47:23	具体的に言いますと、FEMモデル。
0:47:27	ですと日尊敬な傾きとなり、今年適応流通SRモデルのため、
0:47:34	船型の傾きとなりますのでそちらの方の生き方。
0:47:39	そういうがないことをこちらの中で確認しております。例えば右下 24 ページで言いますと、
0:47:51	各加速度に対して、
0:47:55	三次元FEMモデルでの回転角等、懇適用モデルの回転角に違いがないことを示しております。
0:48:03	25 ページ 26 ページについても同様に、水辺鉛直変位について確認しております。
0:48:18	以上で添付資料 2 の説明。
0:48:21	としたいと思います。
0:48:30	すみません。
0:48:32	つまりは、
0:48:37	最初の冒頭で、
0:48:41	いや
0:48:42	東り、
0:48:45	その前段階とかっていうふうに 123 の参考につけるみたいなのも特にないの に、
0:48:52	ちょっと私が探して見つけられる方だけの資料ですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:57	ちょっと最初の 8 ページの一番最後、
0:49:03	はい。
0:49:06	ちょっと流れが
0:49:08	ずっと儀礼
0:49:10	委員長っていうことはなかったんですけど。
0:49:13	やはりモデルでやりますキャスクのモデルあまりモデルで言いますよ。
0:49:18	でも三次元のFEMでやってもほぼ同じなんですよっていう説明説明と、
0:49:25	イトウです。
0:49:44	はい。ご認識の通りです。
0:49:54	添付 2、
0:49:56	においても、
0:49:59	助産師芸英語で表これ、
0:50:05	ほぼほぼ、
0:50:06	ですよ。
0:50:08	はい。
0:50:09	全部重なったんですけど、何か違いとかあるんですかね。
0:50:14	とほぼ同じです。苦言を
0:50:18	入力しているばね定数が
0:50:21	兵庫モデルで算出した場面定数と同じものを公認危険をモデルに入力しているためで時ものとなっております。
0:50:30	その時の回転角だったり変位であったりをまねのため、
0:50:36	問題ないかどうか確認した図として添付しております。
0:50:46	何となく、
0:50:49	洗掘でちょっと前に戻ってしまうんですが 10 ページの
0:50:54	結果の概要
0:51:12	10、
0:51:19	見た場合で、
0:51:21	これって、キャスク一度キャスクに入れて
0:51:25	ちょっとずつ違ってるので、何が違うや燃料のですか、形というあれが違うからってことなんですけど、ちょっとそこら辺がよくわからないんですが、
0:51:39	はい。
0:51:40	ご認識の通りで原料のれるタイプが違うからですねと。
0:51:46	タイプ 1 のほうは 14×14 で、
0:51:50	タイプ 2 のほうは 17 掛け 10 の燃料集合体を入れているため、若干重量が異なっており、このような結果となっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:01	これ、
0:52:02	間違っちゃってこっちの結果のほうで、
0:52:05	続いているという感じな響いているんですかね、このばね。
0:52:09	例えば 14 ページとかの
0:52:12	この結果、
0:52:21	振動数
0:52:24	重量の結果が得とどのように結果に響いてるかという金融質問ですか。
0:52:45	次に、
0:52:47	はい。
0:52:50	モデル化の中で違いです。
0:52:53	ぐらいいなくなっているのと、
0:52:55	あとは傾きケース 1 とケースに分けられているんで。
0:53:03	その確度の違いとかあると思うんですけど、この差によるものが、
0:53:12	もう差による違いは、
0:53:15	そうですね。
0:53:17	それをさによって結果が大きく違うことはないです。
0:53:24	四国電力の村上でございます。ちょっと補足をさせていただきますと、14 ページに記載のこのバネ調査の算出については、結構、次のページ、15 ページを御確認いただきたいんですけども。
0:53:39	バネ要素の算出と三次元FEMで実施をしておりますので、こちらのモデルで実施をしております。当然こちらについてもケースIPコムタイプ 1 タイプに計上分や情報量が若干異なりますから、そういったものも適切にモデル化をして実施をさせていただきます。
0:53:59	当然形状や重量、ちょっとずつ違うことから、そういったところで、14 ページのお金女性の算出にも差異が生じていると思います。
0:54:12	以上です。
0:54:21	説明が何となくわかりました。
0:54:27	前回の定数をしてきたもの。
0:54:36	規制庁つかまえですけどちょっとすいません、基本的なことを聞いてすいませんで通しの 10 ページ目で先ほどのはりモデルの概要が、
0:54:45	あるんですけど、これをしてんの。
0:54:49	M1 とM2 っていうのは、
0:54:52	必要 0 ンなってるんですけど。
0:54:55	特にMってなったんですかねっていう、どうこの絵でも 1m2 を
0:55:02	置かれてるか説明いただけますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:09	四国電力の村上でございます。こちらはちょっと御説明手順ページの表につきましては、燃料集合体の質量、特に前回の部屋で使われたの方から御指摘をいただきました燃料集合体の質量をどう分配してますかというモデル化をしますかという観点で、
0:55:29	燃料集合体の質量を各システムにどのように配分しているかというものを協議したものでございます。実際ですね、現状習得、各質点にもう1回お子様を入れてるかというのがですね、確保耐震計算書、
0:55:48	押しページの上4ページにキャスクを含めた質量については、耐震計算書、この添付資料として申請をしてございまして、こちらのほうにそこ重量も減り入れております。
0:56:04	ここはやっぱですね、Caseタイプ1であれば、資料9-13-1-1-1-14ページに記載をしておりますが、
0:56:18	M1であれば、
0:56:21	はい。
0:56:24	2.035と思うておりますキャスク自体が2.03335も入れておるんでございますただ燃料集合体か内エリアの下の部分のところで燃料集合体自体の質量ばそのうち、
0:56:42	0本というような表記をしております。
0:56:46	以上でございます。はい、戸塚です。はい、わかりました。ちょっと質問の仕方が悪かったかもしれないですけど、具体的にへん部や六つっていうのは、部材としては、どこをモデル化したものだと思えばいいですか。
0:57:03	下も列島容器の底盤部分のイメージしていただければ。
0:57:11	思います。
0:57:15	はい、手帳そう課題とか、とらに4のところっていうのは、どう表現されるんですか。
0:57:22	はい、レポですね、こちらの質点自体もですねキャッチ特に期待をモデル化をしているというイメージを行っていただければと思います。
0:57:34	一方、もう
0:57:39	しゃべっての補足説明資料9ページでございますが、こちらのキャスク地帯もいえるモデル化をしているというのが節電部分でございますので、
0:57:53	延長通しページの21ページに超2ページを御確認いただければと思うんですけれども、こちらは参事兼不二家部分の
0:58:04	質点系モデルの比較公表値の比較の部分でございますが、こちら、脚そこ自体をのみを日加工しているということからもキャスクだけをモデル化をしているというDAがイメージしやすいのかなと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:21	総務でですね貯蔵架台や頃に部分につきましては、脚光拘束をしているというところで0 その部分をばねでモデル化をしているというところでございます。言葉的には
0:58:38	もしページの11ページの運転に効果でございますが、を全部見て機構自体はキャスク自体見て2項につきましては、そのあとの情報とかダイヤとかによる部分もあれでもグループをしまったという説明を記載をしているものでございます。
0:58:57	簡単ですが、以上でございます。
0:59:00	発生茶津川です。はい。よくわかりました。
0:59:04	ご意見すみませんちょっとこれも見てないという申し訳ないんですけど。
0:59:09	保有する
0:59:12	98す。
0:59:15	固有振動数について、
0:59:19	キャスク食う
0:59:22	の
0:59:24	固有振動数については、先ほどの別添1とかで、
0:59:29	20、21ページですけど、41.5とか41.2とか、
0:59:35	って言ってて、
0:59:40	ちょっと課題。
0:59:42	あれも通しの12ページ目で書かれている。
0:59:46	表中に抱えてるうちゆう交点にっていうのは、これは、
0:59:52	どこの
0:59:54	この数字の違い等、あと13ページ目の説明に
1:00:00	収穫期である25Hzというのと、
1:00:04	いろんな数字は出てきてるんですけどちょっと関係性教えていただけますか。
1:00:10	はい、四国電力の村上でございます。簡単に整理をさせていただきますと、まず、最初御指摘をいただきまして、通しページの21ページ22ページの40Hz前後も与えこちらについては、キャスク
1:00:25	その物をキャスク自体を降灰とかがなくて、キャスクをその後のこういう振動数が40Hzぐらいかということを示しております。この固有値を算出するにあたっては下の部分も21ページ22ページで完全拘束というふうに思っています。
1:00:43	記載をしておりますが、ここを完全に5決横棒決した場合、全体的にはキャスク自体は40Hz前後iPhone条件つき等の価値があるという状況でございます。続きまして、15Hz前後。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:01	でございますが、これにですね兆候がタイヤとら2をほぼ一定つけた場合が15Hz前後というところで、やはりですねキャストという重いものをですね、リオンという全体としては若干細い部分ってさせ耐えるということで、
1:01:18	貯蔵架台に締め付けた状態の全体系としては15Hz前後になるという状況でございます。
1:01:25	そその辺りも御確認で用いて記述をしておりますが、最後に13ページに記載をしております。25Hzでございますが、実際にはこのキャストの下の底盤部分は、安全、
1:01:42	完全拘束で計算ができないとごめんなさい系統完全拘束ではない状態なんですけども、三次元FEMでこういう状態相当いたしますとですね、どうしてもそこ完全拘束にして、
1:01:58	あげないとですね計算ができないというふうな状態非線形性では告知は出せないというところでございます、ここ今回三次元FEMでは固有値を出すために、システム系モデルで出していくんですけども、そこを今後無理やりですね、30件、
1:02:17	FEMでどこをして
1:02:21	キャストのそこをですね、貯蔵架台に欠乏した状態で解析をしてみると、25Hzでの過怠筐体店舗工認で使ってる値よりかたい状態というところもご参考までに記載をしているという状況でございます。以上です。
1:02:41	はい、瀬戸塚本です。わかりました。あと、最後ちょっと細かなところで、
1:02:46	12ページ目のそのケース1とケース2段ですけど、その厳密にこの図を見るとその90どう対象ではなくて、
1:03:01	違う向きもあれ、
1:03:04	この二つでZ全部をカバーできているんですけど、すみません、ちょっと
1:03:12	と長辺と短点があるので、
1:03:17	今は長辺側にケース1が動いてますけど。
1:03:21	短編側、
1:03:23	動くようなケースっていうのは、
1:03:26	関係ないんでしょうか。
1:03:29	はい、そこ電力の村上でございます。それ向上について聞いているところはとらにポンプのやはり細いところでございますので、そういったところも貯槽抱える長かったというところの見積もりですねとら2を超える地域試みていただきますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:48	町入るべきであろうが出向きだろうか、形は同じですので、ほぼ有地の影響はこのケース 1 とケース 2 を見ておけば問題ないというふうに判断をさせていただきます。
1:04:04	排気筒からやっぱりまして検討
1:04:07	長変化を開かれているのは何か理由があるんですか。
1:04:11	。
1:04:15	四国電力の村上でございます。すみません。
1:04:19	そしたらこの超える違う軟らかめになれるからではないかということに考えておりますが、ちょっとを解析者の方に確認をさして後日回答させていただけたらと思います。
1:04:34	はい、きちっと使えるでしょうわかりました。よろしく申し上げます。私からは以上です。
1:04:54	はい。
1:04:58	規制庁の宮島です。
1:05:00	はい、そうですね、ちょっと細かいところちょっとわかってなくて恐縮なのですが、添付 1 の三次元のモデルとモデルのこういう解析結果ですけれども、これ格子盤表紙ページ 21 ページ。
1:05:17	Type I のこういう振動数これ出していただいているんですけども、孫サーバーで 7%程度前%弱なんですけれども、これで
1:05:29	この三次元要素のイダしたこういう振動数と変わる要素及び機器展の森で出した固有振動数、これが、これは十分小さいと安全意識がちょっとわからなかったのですね通しいただければと思います。
1:05:52	四国電力の村上でございます。下崎最後のほうが若干聞き取れなかったんですけども、
1:06:01	層理地層ごめんなさい、タイプ 1 とタイプ 2 で、たりこっちであれば 0.3 表についても誤差タイプ 2 カッコで勉強するけれども黄砂
1:06:12	この大阪ドイたところから生じるかというご質問でございますでしょうか。そうですね。
1:06:20	はい、一井で 0.0. 75%程度の誤差があるんですけども、この誤差で不十分。
1:06:27	誤差が小さくてこのモデルが自分的に必要なところも説明をいただければと思うんですけども、
1:06:35	よろしいでしょうか。はい、四国電力の村上でございます。もう一つのイトウJA EA理解できました。一方ですね、基本的にはこの振動数が小さいほうがやわらかいほうは基本的には地震の影響を受けるということで、やわらか名簿。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:54	2aモデル化もできておれば、耐震評価上保守的に評価ができるというふうにご考えてございます。そういった点でやっぱType I で解雇日本をですね、5、
1:07:10	もしページの9ページのような徒歩的な形状の考え方をういてモデル化した成果がですね三次元FEMに返して軟らかめ耐震評価というような保守的な評価結果になってるといふ、
1:07:27	Fに認識をして行いまして、耐専評価上は問題ないというふうにご考えております。
1:07:35	はい、ありがとうございました。
1:08:04	はい。どう四国電力オオヤでございませう。それでは資料④のですね電流法に基づく工事計画の概要について御説明させていただきたいと思ひませう。資料④をお願いします。
1:08:17	A内山寮につきましては、現在申請させていただいている設工認に加えてですね電事法に基づく工事計画認可と工事計画の届け出がございませうので、これらの概要について御説明いたします。
1:08:33	2ポツの電気事業法に基づく工事計画につきまして、まず(1)で工事計画の手続きについてご説明いたします。
1:08:41	表1-2ですねえ等、原子力発電工作物の保安に関する命令の別表第1を示してございませう。
1:08:50	表1の中欄がですね真ん中のですね、認可を要するものがいわゆる工認工事計画の認可申請のもので右側の線事前届け出を要するものが電気事業法の工事計画の届け出に該当するものでございませう。
1:09:08	今回の工事計画のPましては、まず等に燃料設備におきまして、使用済み燃料乾式貯蔵容器が対象となります。またですね。
1:09:23	同じ燃料設備の事前届け出を要するものにつきましては、使用済み燃料乾式貯蔵容器の蓋間圧力計が対象となります。またA放射線管理設備につきましては、事前届け出を要するものとして、
1:09:38	生体遮へい装置ですね、使用済み燃料乾式貯蔵建屋の遮へい兵器が該当いたしますので、これらについて手続きを行います。
1:09:48	続きまして(2)の工事計画書につきましてはですね、
1:09:53	右ああしてきました下のページ2ページと3ページに跨りまして、どのような書類をつけませうかというのを整理してございませう。
1:10:03	表2の見方でございませうけれども、まずピンク色が認可申請届け出両方に対象となるもの。
1:10:11	緑色がこの内認可申請の対象となるもの、オレンジ色がですね届け出の対象となるものでございませう。この中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してございませう。発言者による確認はしてございませう。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:22	必要な書類をつけて申請するというものでございまして、その中で原子力発電工作物の保安に関する省令第 15 条第 1 号の規定に基づく
1:10:36	指示についてどういうものがございまして、その資料に基づいて省略できる書類についてはこの表 2 の中でもちょっと見にくいんですけども網掛けをしてございます。具体的にですねどの書類が
1:10:52	今、申請させていただいてる設工認の書類に該当するかというものにつきましては添付資料のほうに足取りまあ整理してございまして、その中で省略というのを整備してございます。
1:11:07	説明については皆さんの、ちょっと割愛させていただきます。
1:11:11	続きまして本部のほうに戻りまして、3 ポツの申請スケジュール等になるんですけども、
1:11:19	まず(1)の公認申請等の申請時期につきましては、設工認の補正後に現状の工認申請等の届け出を
1:11:31	実施させていただけたらというふうに考えてございます。
1:11:34	このうちですね、工事計画等競輪かかる工事につきましては、電気事業法に基づきまして、その届け出が受理されてから 30 日が経過すれば、当該工事を回収できるようになります。この投票工程案につきましては表 3 のほうに、
1:11:53	示してございまして、表 3 の中である 3 年度ですね、に等もこのような手続きを行いたいというのを記載してございます。
1:12:03	繋がって本文に戻っていただきまして、使用前検査につきましては、工認申請等工事計画の統計でというものは法令要求に基づいて、それぞれ手続きを行います。
1:12:17	検査においては、この平成設備と届け出の設備が相まって技術基準への適合が確認できるようになりますので、
1:12:26	懇先生と届け出を統合して使用前検査を申請したいというふうに考えてございます。
1:12:33	資料においては使用済み燃料安全貯蔵する観点から、各反映単位で乾式キャスクの使用前検査が終了したのから準備
1:12:43	使用認めていただくために、原子炉等規制法に基づく一部使用承認に係る手続きのように連動につきましても、使用承認の手続きを行う計画としたいというふうに考えてございます。簡単でございますが、説明は以上となります。
1:13:07	はい。
1:13:13	いいとは、今後、電源電事法で届け出と申請出しますよという、
1:13:21	本当にそう。
1:13:23	だけですよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:25	だけどもは言いませんけれども、中身のものを出しますよ。
1:13:31	NPOの方つけてますようなつけますよって電事法のほうに説明してますよって いうことで理解でよろしいですか。
1:13:42	塗色連合開けございます。それは御認識で結構です。
1:13:57	一番
1:14:02	停止
1:14:12	すいません。もう一度お願いしてもよろしいでしょうか。
1:14:16	そう。
1:14:19	はい。こういう
1:14:22	今後の使用前検査とかそういう一部使用承認とか、こういう流れを予定してい ますっていうのは、
1:14:29	御社の4点の予定を記載いただいていると。
1:14:35	はい、そうです。その理解で結構です。
1:14:41	規制庁つかめる継ぎ手だけ確認なんですけども、今回使用前検査のことも書 かれてるんですが、この検討ちょっと官僚的な縛りですけど、これはその審査 のがっ審査部門として何か。
1:14:56	コメントする立場でないことだと思うんですけど。
1:14:59	それはそういう認識でよろしいですか。
1:15:03	はい。全体の流れですね工事全体の流れを記載してございますものでござい まして審査部門の方にコメントいただくような内容ではないというふうには認識 してございます。
1:15:17	はい、わかりました。
1:15:20	これを持っておっきいて参りました。
1:15:29	説明します。
1:15:31	日本に3何かありますか。
1:15:38	以上です。特にありません。
1:15:45	今回、提出いただいたヒアリング資料についてはこれで終わりたいと思いま す。
1:15:52	今日出たコメントの中で何か。
1:15:55	はい。
1:15:57	でありますか。
1:15:59	四国電力の堀池です。今回いただきましたコメントの少し確認だけを最後にさ せていただけたらなと思います。まずコメントの方の放射線についてですが、 今回慣例と敷地境界線量につきまして、その妥当性について、妥当性とかそ れについて旧廃校モデル化した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:18	MCNPで
1:16:21	線量評価をさせていただいておりますので、コメントといたしましては、管理区域境界につきましても窓の今回の建家の設計が妥当であるということを示すことというのをコメントいただいたと思っております。
1:16:35	敷地境界につきましました。保守性につきましては、いつも言ってん。
1:16:41	あとタイトルについても適正化してのもう1個の耐震につきましては、耐震の
1:16:51	三次元モデルでございます。
1:16:55	はい。
1:16:59	四国電力の村上でございますと私の方から宿題のように確認をさせていただきます。資料で言いますとしきりに12ページでございますが、ケース1が長辺方向のイイダバね定数を算出しておりますが、本件方向。
1:17:18	ではなくで長辺方向を選択した理由について、本資料のほうに反映したいと考えております。以上です。
1:17:29	はい。としてお願いとしては以上の3点がコメントとしていただいたというふうに認識しております追加ですけど、さっき根井さんなんかしているところを使ってないところは支店ですかねっていうので全部が全部ここのっていうのが、
1:17:47	しかしあり得ないと思うんですけども、
1:17:52	所下の方とか要望とか、9ページにありますけど、それが本当に
1:18:01	隔離するって、
1:18:11	で、資料2、
1:18:15	それでいいので。
1:18:20	はい。四国電力の村上でございます。
1:18:22	十分そうしましたら括弧質点が、そこら辺の客の部材パリ濃縮点は表しているのかというような資料を準備追記させていただきたいと思っております。以上です。
1:18:37	はい。
1:18:39	いただきました。すいません。はい。
1:18:43	じゃあ、以上でヒアリングを終わります。ありがとうございました。
1:18:48	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。